

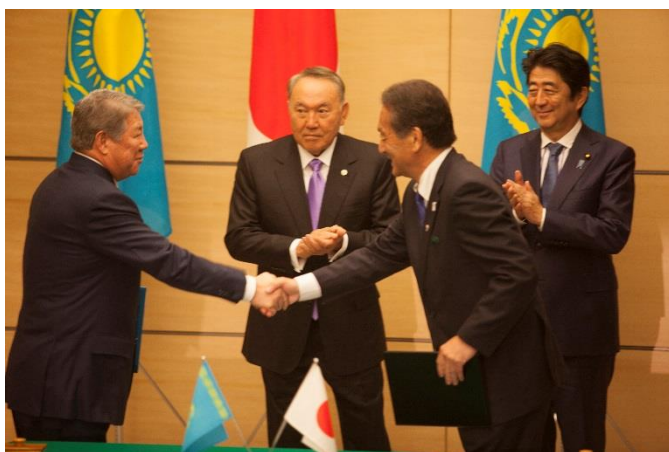
<中央アジア初の国際博覧会> 2017年アスタナ国際博覧会 「日本館参加契約 署名式」が行われました

安倍晋三内閣総理大臣及びカザフスタン共和国 ヌルスルタン・ナザルバエフ大統領の立ち会いの下、「2017年アスタナ国際博覧会日本館参加契約 署名式」が11月7日(月)、首相官邸にて行われました。

中央アジアで初めて開催される万博である「2017年アスタナ国際博覧会(以下、アスタナ博)」は、「未来のエネルギー」がテーマで、日本政府は経済産業省を幹事省、文部科学省、国土交通省及び環境省を副幹事省、日本貿易振興機構(JETRO)を参加機関とすることを2015年2月に閣議了解しています。

日本館の出展テーマは「Smart Mix with Technology ～オールジャパンの経験と挑戦～」。
このテーマに基づき、カザフスタンそして世界の皆様に日本のメッセージを発信します。

今回の署名を受け、日本館の出展準備をいっそう推進して参ります。2017年3月には、展示を中心とした出展詳細を発表する「会期100日前・日本館記者発表会」の開催を予定しています。
ぜひ日本館にご期待ください。



前左:アフメトジャン・エシモフ アスタナ国際博覧会公社総裁

前右:中村富安 陳列区域日本政府代表

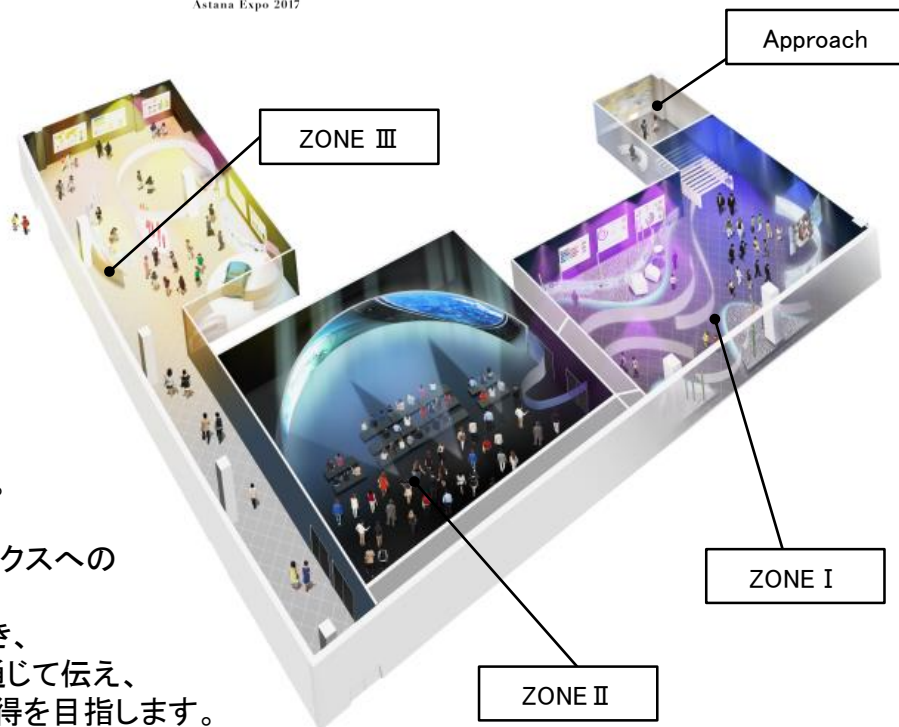
※署名式の画像が必要な場合は、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

(本件に関する報道関係の方からの問い合わせ先)

2017年アスタナ国際博覧会 日本館広報事務局 担当者:島田、長谷川
アスタナ博日本館 公式ウェブサイト : expo2017-astana.go.jp/

電話: 03-3221-1100 FAX: 03-3265-5135
MAIL: astanaexpo-japan@ozma.co.jp

【日本館展示構成】



日本館内の展示は、

- ①ZONE I
- ②ZONE II
- ③ZONE III

の3つのゾーンで構成されます。

日本の省エネやエネルギーミックスへの取り組み、またその背景にある日本の文化や精神性等を、驚き、楽しさあふれる体験や体感を通じて伝え、日本への強い関心と共感の獲得を目指します。

【2017年アスタナ国際博覧会の概要】

- 名称 : 2017年アスタナ国際博覧会
- 会期 : 2017年6月10日(土)～9月10日(日) 93日間
- 開催地 : カザフスタン共和国アスタナ市
- テーマ : 未来のエネルギー (Future Energy)
- サブテーマ : 1. CO₂ 排出削減 (Reducing CO₂ Emissions)
2. 省エネルギーの活用 (Living Energy Efficiency)
3. すべての人類のためのエネルギー (Energy for All)
- 会場面積 : 約175 ヘクタール
- 想定入場者数 : 500万人以上
- 想定参加国等 : 100を超える国・地域、国際機関
- 公式ウェブサイト : expo2017astana.com

アスタナ国際博覧会は国際博覧会条約に基づく認定博覧会です。開催地であるカザフスタン共和国の新首都アスタナは、2017年に遷都二十周年を迎えます。

【2017年アスタナ国際博覧会ロゴ】



【日本館出展テーマ】

Smart Mix with Technology

～ オールジャパンの経験と挑戦 ～

エネルギー資源に乏しい日本は、経済成長とともに増加するエネルギー消費量や環境問題の課題を解決するため、国民を巻き込んだ省エネルギーの推進、新エネルギーの導入、CO2排出量の削減等に取り組んできました。そして今も3E+S*の同時達成に向けて更なる努力を積み重ねています。こうした努力と経験を「オールジャパンの挑戦」として世界にアピールします。そして、アスタナ国際博覧会のテーマである「未来のエネルギー」への提案として、我が国の高い技術力と世界の課題解決に貢献できる日本の姿を世界に向けて発信します。

* 3E+S: 安全性 (Safety) を前提とし、エネルギーの安定供給 (Energy Security) を第一に、経済効率性の向上 (Economic Efficiency) による低コストでのエネルギー供給を実現し、同時に、環境への適合 (Environment) 図るため、最大限の取組を行うこと。

【日本館シンボルマーク】



日本を象徴する赤い丸からエネルギーギッシュに飛び出す3つの色は、在来型のエネルギー、再生可能エネルギー、未来のエネルギーを、そして、それぞれの色が重なり合う部分はエネルギーミックスを意味し、一体となって未来に向けて上昇していくことを表現しています。

【日本館サポーター】

アスタナ国際博覧会日本館の魅力を幅広く発信するため、各界でご活躍されている方々を、「アスタナ国際博覧会日本館サポーター」として、経済産業大臣より任命するプロジェクトを進めています。その第1号として、嘉門達夫さんに日本館サポーターにご就任いただきました。

■嘉門 達夫 (シンガーソングライター)



1959年3月25日大阪府茨木市生まれ。1970年日本万国博覧会(大阪万博)に多大な影響を受けて育つ。小学校ではパピリオンのバッジ集めが流行り、達夫少年は64個で3位。フォークソングとラジオの深夜放送にも影響を受け、高校在学中に笑福亭鶴光氏に入門するが、後に落語家破門。その後全国を放浪する中でギターを手にライブ活動を始め、ヒット曲も多数。

2005年愛・地球博では、テレビ番組の企画で小学校の同級生と35年ぶりのバッジ集めで対決。2010年上海国際博覧会では、日本産業館応援団長に就任。ライブステージとバッジ集めで多くの国の方々と交流し、650個のバッジを集めた(写真参照)。2015年ミラノ国際博覧会では、日本館サポーターに就任。現地でライブも行い、バッジ集めにも奔走した。CD、ライブ、ラジオ、テレビ、執筆と同様、国際博覧会もライフワーク。



日本館と一緒に働いてくれるアテンダントを募集中です。詳細は、下記ウェブサイトでご確認ください。

2017年アスタナ国際博覧会 日本館アテンダント募集ウェブサイト <https://www.expo2017-attendat.go.jp/>